

常盤塾

日時：2015年10月10日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 福井悠太

メンバー：常盤さん 安梅さん 今田さん 丸山さん 片平さん 大下さん 松崎さん
出井さん 昌子さん 古城さん 古川さん

次回に向けての連絡

松永さん：発表

片平先生：四年生が来られないので、部屋の鍵を開けていただく
懇親会のお店を見つけていただく

（1）常盤先生の話

●常盤さん

グーグルでは、朝にチェックインスピーチをするらしい

ここでは、今感じていることや知りたいことをスピーチする

今日はコーヒーの話をする

今田さんや松永さんの話でコーヒーの話が心に残った

家に帰る途中、カルディで美味しそうなコーヒーが売っていた

袋に書いてあったコーヒーの由来が面白かった

カルディというヤギ使いの話

何か自分の持っている情報と外の情報が繋がると目に止まる

ハイブ

立体で見るテレビがこれからは流行るということで、買ったが一度も使わず終わった

一度もてはやされたが、うまく流行らず、顧みなくなるものを「ハイブ」という

一度もてはやされた商品が残るか沈むかは一度使って、鳥肌が立つかどうか大事

iPhone をスティーブジョブズが取り出した時、大きなポケットからではなく、小さなポケットからであった

CSR やメセナ、フィランソロピーという言葉がもてはやされたが、今や死語になりつつある

ガートナーが唱えた「パイプ・サイクル」では、人気には黎明期、過剰期待期、幻滅期、啓蒙期、生産期がある

企業には表の顔と裏の顔がある

表は商品などで、裏は作り出す過程などである

ドイツ主導のインダストリー4.0では、裏の顔も見せていこうとしている

この流れも時流であり、インダストリー4.0には賛否両論あるが、日本人は流行りに流されがちである

他の国では、こんなにインダストリー4.0に振り回されていない

みんな悪ノリしてしまうので、気をつけないといけないと思う

「～革命」「バスに乗り遅れるな」など、世の中は騒ぎ立てるが、結局消えてしまうものが多い
それに気をつけるためには、パイプ・サイクルを理解しておくといい

流行りがダメであると言っているわけではないが、自分なりの判断を持たないといけない

例えば、「クラウドコンピューティング」や「ROE」など

ROEが8%以下でもいい会社はたくさんある

ROEの優劣が会社の優劣を決めると考えられる風潮は良くない

世の流れに敏感になるのは大事だが、それに飛びつくのは冷静になってほしい

私が花王にいた最後の時期に「EVA」という言葉が流行った

どれだけ付加価値をつけることができるかという尺度であるが、単なる金勘定の尺度の一つ

世の中の変化は激しいので、自分なりの尺度を持たなければいけない

衣服の流行りを調べている人がいる

最近「個性、個性」という風潮があるが、その風潮のせいで平凡になってきた

本当のおしゃれの時代とはトレンドにかかわらず、自分のスタイルをもつこと、マイパターンをもつこと

それが本当の意味での個性である

●片平さん

パイプで一度下がってから、もう一度上がってくるのはめったにない

一度でいいからもてはやされたい、上がりたいと思うものがほとんど

●松崎さん

ラグビーの今の状態はそれに近い

●常盤さん

なでしこジャパンもそうである

●片平さん

それでいい笑

日本でメジャースポーツになってほしくない

日本が南アフリカに勝ったのは、スポーツ界でも随一のありえないこと
tier2 から tier1 の下部に入るところ

おととい、エンジンの神様であるマツダのヒトミさんにあってお話しさせていただいた
VW でのマスコミの反応がありえないとおっしゃっていた
エンジンのことなので、ボッシュが絡んでいるのではないかという論調があるが、部品を味付けするのはメーカーなので、売り込んできたというような話はありません
ジャーナリストは、詳しくなくせに、したり顔で論評する

●常盤さん

「パイプ」とは辞書で調べると、皮下、魔薬中毒者、過剰な宣伝、インチキ、ごまかしなどという意味

●古川さん

マツダのエンジンの話は、しっかり筋を通して
そういう筋を持っているとぶれないという話とどうかかわりがあるか？

●常盤さん

そのような筋を持つというのが、今回の話
マツダとトヨタの提携も足りないものをしっかり見定めた上で、補い合う
本当の意味での合従連衡が大事

「バスに乗り遅れないように」という精神は、行き先も分からなければ、みんなと同じバスに乗るので競争力にもならないのでは

「多様性に寛容になれば、思考の均衡を得る」という言葉を考えてきた

●片平さん

日経のつまらない経営者の言葉よりこのような言葉を載せるべき

●今田さん

お金を出せば載せられる
ジャーナリストも一応筋が通っていて、より売れるためにあらゆることをしている

●安梅さん

違いを楽しむことが、多様性に寛容になること

●常盤さん

自然に接することは、多様性を受け入れざるをえない状態になること

受け入れることが大事

株主総会でも、株主の意見を「貴重な意見ありがとうございました」と受け入れることで、争いにならない

●片平さん

カンボジアでは 24 歳以下が 55%以上

アジアとの交流はこれから大事になるが、アジアとの交流会というと、みんな来ない

「コトラー」という言葉を出すと、みんな色めき立つ

●常盤さん

人口のボリュームゾーンを狙った戦略も大事

●片平さん

カンボジアの人たちと交流してみると純粹でいいやつが多い

日本は、baby boom で生まれた世代が日本を悪くした

ベトナム人は元来ずる賢いが、、、

●常盤さん

中国と接しているから笑

●片平さん

ウォーミュージアムは悲惨なものだが、ベトナムはいかにしてアメリカを苦しめたかということを取り上げている

第2部

●常盤さん

西洋では労働は神に通じる事

キリスト教と労働を一つのモノに使用という流れ

●今田さん

労働は天命で神に与えられたモノ

●常盤さん

労働はコーリング、紙が与えてくれたもの

●今田さん

オキュペーションと言えば時間を取られるもの

●常盤さん

はかれないものを感じるという能力はこれから大事になってくる

デジタル化の世界とまさに反対

見えない裏側をみようとする事で新しい事が見えてくる

●常盤さん

レヴィストロースはすごい観察力

●片平さん

レヴィストロースは人類学者

すごい量の度をしている

●古城さん

アフリカのことも書いてあった。

DNAはルーシーにたどり着く

●古川さん

なんで月の裏側

日本という地球の裏側の世界を見る事で新しい世界が見えてくる

本質的に日本のことは見えないけどわかろうと努力することで新しい世界をみようとしている

●常盤さん

中国には道器変通という言葉がある

道は形而上 器は形而上

自然の道理のなかで人間が生きて行く

器は形になったことを意味しているそこから相関、多様性が生まれるそこから変化することで道が開けてくるという意味を持っている。

これを認めた上で物事に取り組んでいくべき

易の教えである。

●常盤さん

中国にあるツボ ツボの周りがある空間がツボを感じさせている

ツボそのものを見ているのではない

空間がツボを作っているという考え方がある

周りがあるから自分がある。

ニコの話 ニコの周りがニコを創り出している「周りに気が付きなさい」

モノのまわりにこそモノを成り立たせている本質がある。

●片平さん

笛も最初は普通の人がいくら吹いてもならない

その笛に心が通じるとなり始める

歌う声も同じ物理的ではない、ものと心の会話が無いと器が成り立たないのが能にはある

●古川さん

道がある器と道がない器がふたつあるそれを見極めることで初めて本物がわかる

●丸川さん

弓道は力を入れるのではなく鍛錬しているうちに声が聞こえるというようなものがある

●常盤さん

弓を修行していくとどんなものでも打てるようになる。飛ぶ鳥も落とせるようになる。本当の弓引きは弓を使うのではない。弓の名人は弓なんか知らないといった。弓そのものを忘れてこそ名人である。

●松崎さん

禅の話でラグビーに話に通じる

今回の成功は監督が西洋人の感覚で見たからこそそうまくいった

日本人の特性はだれかのために働くモノ。しかしそれが続く持久性こそが大事

今までのスピード、仕事のやりがいを追い求めるだけでなく西洋的な数字での定量的になぜこんなハードワークをしなければいけないかということを理解させたことで持久性がうまれ、日本人の特性と合わさってうまくいった。

●常盤さん

見えないものを見せようという発想はない

感じたものから創造という行為が生まれることが重要

見えないものを受け入れる能力が無いとものごとは進歩しない

その重要性を言わないで職人の技をデジタルにしようというのは本質的にはできない

●古川さん

直観経験実践を日本人は重んじる。

●常盤さん

職人技をデジタル化してしまったら次の職人が生まれなくなってしまう。

●片平さん

日本に来てすぐに職人に注目できたのがレヴィストロースのすごいところ

●今田さん

でてきている仕事は農民にも当てはまる

田植えとか助けあい労働 なぜ存在するのか

人のために尽くすというのは日本人だけの特性か？

村上かずお先生の本を読みかえしている

人のためになって喜ばないと脳が喜ばない

遺伝子がONにならない。休息が無いと人間はこわれてしまう

●常盤さん

間の重要性

●片平さん

遊びにもつうじる

●古川さん

人工知能の世界はあまり幸せではないのではないか

●常盤さん

昔の精神を具現化できる知恵を持たなければならない

●片平さん

輪島に行ったら研修所の弟子が増えている

9人人間国宝がいる。割と一部かもしれないが職人文化が消えないでいる

シマノの労働4か条は10年前にはみんな言えた。血の小便ながして・・・

しかしこの前行くとその話をすると詰まってしまう。それはコンプライアンスが問題。

ナイキも同じ10か条の鉄則今では全然変わり平凡な11か条に変化

10か条はどれも過激でナイキらしいが今では消えてしまっている。

見えないものをみようという職人文化がコンプライアンスによって消えて行ってしまうのは悲しいことだ。

●常盤さん

NHKの宮内さんとの会話で放送では言葉をいちいちチェックしている。不適切な表現は報告。そこでメタファーの持つ豊かさの重要性に気付いた。伸びしろがある。

デジタルではそれだけで通じてしまう。それは悲しいことだ。

片平さん

ナイキがいかにかひどいことを言っていたかについてのプレゼンテーション

N I K E P r i n c i p l e s

Our business is change

We are On offense all the time

Perfects results count not a perfect process

This is as much about battle as about business

Assume nothing

Live off the land

It won't be pretty

...

シマノもええもん始末して血の小便流してなんぼやということを行っている

●昌子さん

アベノミクスの3年抱き放題は不評だった

女性だけが子育てやるのか？ビジネスの3年ブランクは大きすぎ

女性が働ける社会を作ることが大事なのではないか？

会社の絵は印象派から現代アートが使われるようになった

お尻を出した始末をする人というのが飾られたことがある。社員からは耐えられないという声が・・・それを見て芸術に価値を見出す人もいれば気持ちが失せてしまう人もいる。

会社の中で空間を作るためには気持ちの良い環境を創るべき

最近、再生医療が流行ってきている法律の中では再生医療製品が別に展開されている

その中で患者の大腿筋の細胞シートを作って心筋梗塞の部位に充てるという新しい医療が出てきたりしていてとてもおもしろい。

カスガマイシンは春日大社の土から得たもの

昔から土の培養による薬は多い

●常盤さん

アタックの酵素はキャベツ椿から持ってきたモノで表面にあるものなんでも対象でその中の酵素から作っている

●出井さん

うちでもやっていたがそこから薬にするのは難しくて人がかかると

化合物の同定までの土の培養がとても難しい

効果が出る物を発見するのは宝探しに近い

効率が悪いから今では廃止された。メバロチンにもあるように発酵技術は昔からあるもの

常盤さん

薬まで行かなくても微生物その物を利用する発想もある。味噌とか醤油とか

油に住んでいる微生物は特別な酵素を持っていてそれを理解できる

●片平さん

杉本はちろうさんも何万通りも試した

やってるうちにがいいかどうかはわかってくるのではないかな

次回までにやる事

次回から1分スピーチを行うから各自ネタを用意しておく

今回は15分ほど昌じさんの発表がある